

平成25年度 事務事業評価調書（平成24年度実績分）

事務事業名		点字広報事務			
所管部局	総務部	部局長名	森田 恵介	予算事業名	点字広報費
所管部署	秘書広報課	所属長名	池畠 正敏	予算事業科目(平成25年度)	010201020232

1 事業の位置付け

2011 高知市総合計画・実施計画施策体系での位置付け	
施策の大綱	01 共生の環
政策	09 市民協働によるまちづくり
施策	21 情報共有の推進

2 事業の根拠・性格

法律・政令・省令		法定受託事務	施策取組方針
県条例・規則・要綱等			
市条例・規則・要綱等	高知市広報紙発行規則		
その他(計画、覚書等)			
<p>市政に関する情報を市民に分かりやすく平等に伝えていくために、情報公開の推進と説明責任の徹底を図りながら、広報紙やホームページなどを活用した積極的な情報提供に努めるとともに、個人情報の保護を徹底します。</p> <p>また、市民の要望、苦情、意見等を市政に反映するために、ダイレクトアタック制度などを活用し、広聴機能の充実に努めます。</p>			

3 事業の目的・内容等

対象	誰(何)を対象に	目が不自由な方のうち、点字広報の配布を希望する方。	
意図	どのような状態にしていくのか	広報紙を読むことができない目の不自由な方が、点字広報を通じて必要な情報を入手し、市政に参画できるようにする。	
手段	事業実施体制等	総頁数…約60ページ 発行部数(平成25年3月現在)…送付用116部	
		事業開始年度 昭和49年 事業終了年度 -	
活動内容	どのような事業活動を行うのか	①業者と協議しながら、点字広報に掲載する情報を広報「あかるいまち」から抜粋。 ②業者が点訳・印刷し、希望者へ発送。	
成果指標	事業目的の成果を測る指標		
	A	点字広報利用希望者数	市民誰もが市政に関する情報を入手できるように、広報手段の拡大を図る。
	B		
	C		

4 事業の実績等

			22年度	23年度	24年度	25年度(計画)	備考欄	
成果指標	A	点字広報利用希望者数	目標				点字広報の利用希望者全てに対応している。	
		実績	1,560人	1,476人	1,392人			
	B	目標						
		実績						
C	目標							
	実績							
投入コスト	①事業費	決算額(千円)	2,691	2,691	2,597	2,550	●障がい福祉課が、社会参加促進事業費補助金・地域生活支援事業費補助金として、取りまとめて請求。 ●法定補助率…国1/2・県1/4。実際の補助金は3/4以下となる。	
		財源内訳	国費(千円)	1,345	1,345	1,299		1,275
			県費(千円)	673	673	649		637
			市債(千円)					
			その他(千円)					
			一般財源(千円)	673	673	649		638
	翌年度への繰越額(千円)							
	②概算人件費等	人件費等(千円)	1,440	1,440	1,480	1,480		
		正規職員(千円)	1,440	1,440	1,480	1,480		
		その他(千円)						
		人役数(人)	0.20	0.20	0.20	0.20		
		正規職員(人)	0.20	0.20	0.20	0.20		
		その他(人)						
総コスト=①+②(千円)		4,131	4,131	4,077	4,030			
市民1人当たりコスト(円)		12	12	12		総コスト/年度末人口		
年度末住民基本台帳人数(人)		339,130	337,875	338,397				

5 成果指標で表せない事業成果・市民満足度・その他課題点等

- 視覚障害者への広報として、点字広報の他にも「録音広報（テープ版・デージー版）」「メール広報」を実施している。
- 点字広報の利用促進のため、広報「あかるいまち」やホームページでもPRしている。
- 年々、点字広報の利用者が少なくなっており、それに合わせて委託料の見直しもやっている。
- 点字の郵便物は3キログラムまでなら無料で送付することができ、1部当たりの総頁数を60頁以内に収めている。そのため、委託先である「視覚障害者の生活と権利を守る会」と協議をしながら掲載する情報を抜粋しているが、ページの都合上、広報「あかるいまち」の情報を全て載せきれない状況である。

6 所属長評価

評価項目		評価基準	1次	平均点数	評価内容の説明
事業実施の必要性	① [施策体系等での位置付け] 事業の実施が市の総合計画・実施計画・市長マニフェスト等の目標達成に結びつくか、又は、事業の根拠等に結びつくか	A (5) 結びつく B (3) 一部結びつく C (1) あまり結びつかない D (0) 結びつかない	B	3.0	広報「あかるいまち」は、市政情報を市民に伝える重要な手段であり、規則で「市内全世帯に配布する」と定められている。 そのため、目と耳の両方が不自由な方には、点字広報の配布等市政情報の広報を行う必要がある。
	② [市民ニーズの傾向] 事業の実施に対する市民のニーズ（需要量）の傾向はどうか	A (5) 非常に多い、急増している B (3) 横ばいである C (1) 少ない、減少している D (0) ほとんどない	B		
事業内容の有効性	③ [成果の達成状況] 事業の成果指標の達成状況は順調か	A (5) 十分に達成している B (3) 概ね達成している C (1) あまり順調ではない D (0) 十分な成果を望めない	B	3.0	全ての市民の方に市政情報を広報するという観点において、点字広報事務は、録音広報事務とあわせ、市民の知りたいという要望を、全てではないが一定満たしていると思われる。 今後も、関係団体等の要望に柔軟に対応していくことが必要である。
	④ [事業の手法・活動内容] 事業成果の向上のための手法・活動内容の妥当性	A (5) 妥当である B (3) 概ね妥当である C (1) 検討の余地がある D (0) 見直しが必要である	B		
事業実施の効率性	⑤ [アウトソーシングの可能性] 事業の実施にかかる民間活力利用の可能性	A (5) 実施済・できない B (3) 行政主体が望ましい C (1) 検討の余地はある D (0) 十分可能である	A	4.0	広報「あかるいまち」発行配布業務と合わせ、業務委託について随時検討しているが、現在アウトソーシングしていない業務については、行政主体が望ましい。 本業務というよりは、広報「あかるいまち」全体業務においてコスト削減等を検討していく。
	⑥ [事業統合・連携・コスト削減] 類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性	A (5) 現状が望ましい・できない B (3) 概ね効率的にできている C (1) 検討の余地がある D (0) 十分可能である	B		
事業実施の公平性	⑦ [受益者の偏り] 事業の受益者が特定の個人(団体)等に偏りがなく公平性が保たれているか	A (5) 極めて公平性が高い B (3) 概ね保たれている C (1) 偏っている D (0) 公平性を欠いている	A	4.0	点字広報業務も含め広報「あかるいまち」は極めて公平性が高い事業である。 事業費については、社会参加促進事業費補助対象となっており、市単独予算としてはほぼ1/4で妥当といえる。
	⑧ [受益者負担の適正化] 事業実施の財源として、受益者負担割合（一般財源負担割合）は妥当か。補助金等交付事業の場合、対象経費は妥当か。	A (5) 適正な負担割合である B (3) 概ね適正な負担割合である C (1) 検討の余地がある D (0) 検討すべきである	B		
総合点	14.0	総合評価	A 事業継続 (総合点が16点以上で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合) ○ B 経費削減に努め事業継続 (総合点が12点以上16点未満で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合) C 事業縮小・再構築の検討 (総合点が4点以上12点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで2点以下がある場合) D 事業廃止・凍結の検討 (総合点が4点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで1点以下がある場合)		

7 部局長評価

総合評価	評価理由・今後の方向性等
○ A 事業継続	現在の取組を継続しながら、電子機器を利用した新たなニーズに対応できるよう、体制を整えていく。
B 経費削減に努め事業継続	
C 事業縮小・再構築の検討	
D 事業廃止・凍結の検討	

8 特記事項